

高額医療費支払資金貸付申請書等の 記入方法について

◎様式1号

- ①申請者欄には世帯主の氏名を記入し、押印してください。
(フリガナは忘れずに記入してください。)
- ②世帯主の被保険者証記号番号を記入してください。
- ③世帯主の住所を記入してください。
(電話番号の欄は空欄でも構いません。)
- ④療養を受けた方の氏名、生年月日を記入してください。
- ⑤療養を受けた方の性別に○印を付けてください。
- ⑥世帯主(申請者)との続柄を記入してください。
- ⑦療養を受けた方の期間(診療日)を記入してください。
(入院・入院外・歯科の区分に○印をつけてください。)
※1ヵ月単位で記入してください。
- ⑧貸付金振込先の金融機関の名称、支店名を記入してください。
- ⑨口座の種類に○印を付けてください。
- ⑩口座名義人の氏名を記入してください。
(医療機関の場合もフリガナまで正確に記入してください。)
- ⑪口座番号を記入してください。
- ⑫(レセプトの決定点数×10円)×患者窓口負担割合－申請者の自己負担
限度額で計算してください。
- ⑬⑫で算出した見込額に0.9を乗じた額を記入してください。
※千円以下は切り捨てて記入してください。
※申請額が20万円を超えた場合はレセプトのコピーを添付するよう
にしてください。(本会に医療機関より提出されている場合は、本会で
コピーを取ります。)
- ⑭貸付金の受領に関する権限を保険医療機関等に委任する場合は、世帯主
の氏名の記入及び押印してください。
※この場合、⑧～⑪については⑮に記載されている受任者(医療機関等)
の振込先となります。
- ⑮口座名義人が病院の場合は、請求に○印を付けてください。
口座名義人が申請者の場合は、証明に○印を付けてください。
- ⑯レセプトの請求点数を記入してください。
- ⑰保険点数と公費点数が異なる場合であって、高額療養費償還分が発生す
る場合、公費点数分を記入してください。

◎様式 2 号

- ⑱療養を受けた方の氏名、期間（診療年月）、申請額を記入してください。
- ⑲委任者＝申請者の氏名・住所を記入し、押印してください。
- ⑳保険者名（申請保険者）を記入してください。

◎様式 3 号

- ㉑借主＝申請者の住所、氏名を記入・押印し、借用金額（申請額）を記入してください。

◎別紙

- ㉒申請保険者名を記入してください。
 - ㉓申請者（世帯主）の氏名を記入してください。
- ※金額については貸付額が決定してから本会で記入します。

◎上記の欄に記入漏れ、不備があるものはお返しする場合があります。

※注意事項

- ①申請者の印鑑は全ての様式に**同じ印鑑**を押印してください。
- ②自己負担限度額は低所得、一般所得、上位所得等の**所得区分**に
応じ、**正確に記入**するようにしてください。
- ③同一世帯で同月診療の場合は、世帯合算として貸付を行うことができます。その際に、振込先が一緒であれば、1件の申請書として処理することができます。
ただし、様式1号の申請書は**2枚**つけてください。（点数証明のため）
※振込先が2つの医療機関に分かれている場合は、1つの申請に出来ませんので、通常の合算の処理方法を取ってください。
- ④保険者から貸付申請されたものについては、書類の不備がない限り、貸付を行いますが、各保険者において**申請者が貸付金を返済できるかを審査**してください。
（国保税等の未納がないか等の確認）
- ⑤保険者・医療機関が記入した部分について、訂正印を使用する際には、担当者の印ではなく、**公印**を使用してください。
申請者が記入した部分の訂正の場合は、申請者の方の印を押印してください。
※太枠の中は**基本的には申請者が記入することとなっておりますが、病院等に振込の場合は医療機関の公印をもらうこととなります。**